

# ふる～ぶ～ Fleuve

「ふる～ぶ」はフランス語で海にそそぐ大河のことです  
ひと、まち、自然、歴史、風景、吉野川をとりまく様々な表情をみなさんにお伝えします

VOL. 76  
2006/6



1 page **【特集】**  
吉野川アラカルト

## 吉野川の川中島 「中鳥島」

5月27日、西村中鳥堤防竣工式が  
開催されました。

3 page **吉野川いまむかし**  
中鳥島編

4 page **ふる～ぶ編集部がおじゃましま～す**  
取材希望小・中学校大募集!!

今月の表紙イラスト【四国のみずべ八十八カ所】  
雨乞いの滝

5 page **ふる～ぶめいと通信**  
中鳥渡し  
助任は助閼(すけとう)

6 page **Ra♪Ra♪Ra♪エッセイ**  
ハーブの始まり

**ふる～ぶインフォメーション**  
「東みよし町」合併植樹イベントが開催されました。

7 page **よりよい吉野川づくり〈第13回〉**  
吉野川水系河川整備計画の策定  
ふる～ぶひ・ろ・ぼ…編集後記・おたより・プレゼント





# 吉野川の川中島「中鳥島」

5月27日、西村中鳥堤防竣工式が開催されました。

## 三つの川中島

「中鳥島・舞中島・善入寺島」吉野川には、3つの川中島があります。川の中の島。その名のごとく、吉野川の中にあるこれらの島は、常に吉野川の洪水との戦いを強いられた島でした。舞中島には高石垣、城構えの家、水防竹林、洪水の水位跡が残る住宅などが、現在でも残っており、洪水との戦いを物語っています。吉野川で、1番大きな川中島である善入寺島は、遊水地とするため、住民は、北海道や県内各地に移転し、現在は、農地として使われています。

## 西村中鳥堤防築堤工事

中鳥島は、吉野川河口から、約58kmの距離に位置し、旧河道内である中鳥川と、現在の本流である吉野川に挟まれた川中島です。洪水時には、中鳥島を始め、美馬町一帯が、浸水するため、中鳥島を全島買収し、堤防を作ることによって、中鳥川を締め切るとともに、中鳥島の約半分を掘削し、吉野川に流す水の量を確保して、洪水の氾濫防止に努めるのが、西村中鳥堤防の築堤事業です。その概要は、長さ約3.4km。用地取得面積約



完成した堤防。長さは、3.4km。



33ha (ヘクタール) 家屋移転28戸、事業期間は、昭和61年から、平成18年の20年間の長期にわたり、総事業費は、約100億円にもなりました。

## 西村中鳥堤防竣工式

当日は、心配された雨もなく、地元住民の皆様や、県知事、県選出の国会議員など、約500人が参加して開催されました。式では、まず最初に、石

川浩徳島河川国道事務所長より、「堤防の完成にあたり、地権者の皆様、関係各位のご協力に感謝いたします。今後も、地域住民の皆様の生命、財産を守るため、またうるおい、安らぎのある川づくりに、尽力してまいります」と式辞を述べました。また、中鳥川樋門の銘板作成に協力した重清西小学校の子供たちへの感謝状や、新たにアドプトプログラムに参加される団体





(上) 中島川橋門の銘板製作にご協力いただいた重清西小学校6年生。代表して、向かって左から、谷綾乃さん、中央藤田稔貴くん、藤綾香さん  
(中) くす玉を割って、完成を祝う。  
(下) 地元の竜美連のみなさん。



への記念品の贈呈式などが行われ、その後、関係者がくす玉を割り、堤防の完成を祝いました。

当日は、地元竜美連の皆さんによる阿波踊り、餅投げ、NPO団体である美馬体験交流の会による竹炭、老人会の皆さんによる竹細工プレゼントなど、楽しいイベントも開催されました。また、地元宮北婦人会のテントでは、たけのこ寿司や、田楽がふるまわれました。

今後は、この周辺では、水辺の楽校などの整備が進み、多くの人々の水辺空間の利用が、期待されています。

用地協力者に伺いました。

## 思い出はいつも胸に。

美馬市 安永富雄さん

「それは、つらかったよ。子供の時から60歳まで、住んどったとこやけん、思い出もようけあるし」と移転の時を思い出して語る安永さん。

安永富雄さんは、西村中島堤防建設にともない、島を離れた28戸の住民のおひとりです。家では代々、農業、酪農、養蚕を営んでいました。

現在75歳の安永さんですが、小さい時の思い出を語る時、ほっと表情がほころんで、やさしい笑顔になりました。「吉野川でよう遊んだでよ。友達、兄弟といっしょになあ。いろんな魚もおった、ジャコ、エッシュウ、ギギ、ナマズ……」次々と出てくる魚の名前。島の伊射奈美神社では、季節ごとに祭りがあり、お母さんが、お寿司や、煮しめなど、ご馳走を作ってくれたことも、思い出深いことのひとつだそうです。

そんな思い出多き島の生活ですが、洪水には、常に悩まされてきました。昭和20年9月の台風、昭和29年9月、床上1m以上の水がきたことも。当時は、今のように精密な気象情報はなく、大雨が2、3日続くと、吉野川の様子を見に行ったり、島の南側から、どんどん流



どちらも、昭和29年ジュン台風の出水時  
(上) 美馬市中島地区と(下) 美馬町谷口地区の孤立状態

れてくる雲を見て、雨が降るなあと予測して、洪水に備えました。洪水に備えての大きな仕事は、まず、牛、農機具、自動車などの生活の糧を、島の高台にある伊射奈美神社に持っていくこと。空からは、土砂降りの雨。足元には、ざあざあと流れる水。「牛やって、鳴くんでわ。ぬれるしなあ」と、昨日のここのように、話をする安永さん。その表情を見ていると、洪水との戦いがいかに、厳しかったかを物語っています。

今回の移転に関しては、世話役をされ、28戸の方が、家や仕事を失ったことは、とても心苦しいことでした。反対にいい面は、水に対する脅威がなくなり、安心して暮らせること。

堤防の完成には、多くの方のご協力があったことを、私たちは、忘れてはならないと強く感じました。

写真提供: 美馬市・瀧池弘志さん  
中島島の用地協力者で、竣工式にも、いらっしゃった。移転完了直前の昭和61年撮影。





# 吉野川 いま むかし

このコーナーでは、  
吉野川の今と昔の写真を  
見ることによって、  
ふるき時代を見つめ、  
未来の吉野川を創造します。

## 島のこどもたち



島で野球をするこどもたち。  
のどかな風景です。

## 第1回 中鳥島編

今回は、西村中鳥堤防の完成を記念して、中鳥島「いま、むかし」をお届けします。中鳥島は、1726年の大洪水で、南岸より切り離され、川中島となりました。

ふる～ぶめいと  
大塩邦光さんの  
ライブラリーより。



昭和48年、中鳥島の買収のニュースを聞き、大塩さんはすぐに中鳥島へ写真を撮りにいきました。その中の一部をご紹介します。



対岸のつるぎ町より  
島を望む。

## 伊射奈美神社 のこま犬

昔



この神社では、四季を通じて多くの祭りが開催されました。

今



伊射奈美神社は移転し、現在はこんもりとした神社跡だけが残っています。

## 中鳥渡し

昔



美馬町中鳥と、半田町松生を結んでいました。船頭さんは、古くから中鳥島の住人が従事していたといひます。

今



今は、渡し場跡に人はなく、ひっそりとしています。



# ふる～ぶ 編集部が おじゃまします!

## 取材希望小・中学校大募集!!

このコーナーでは、毎月、吉野川流域の学校を訪れ、吉野川や支川を利用した環境学習や、総合学習などについて紹介してきました。今後もこのコーナーで、さまざまな学校での取り組みや、子どもたちが感じていることなどを紹介していきます。「ふる～ぶ」では、紙面に登場していただける小・中学校を募集しています。

VOL.75で紹介している徳島河川国道事務所が主催した「吉野川を活用した総合学習の推進について」と題した先生方の座談会では、「他の学

校とも連携した取り組みを行いたい」「学習の成果を多くの方々の前で発表したい」という教育現場での生の声も聞きました。成果の発表の場としても是非、「ふる～ぶ」を利用させていただきたいと思います。紙面で紹介するだけでなく、より多くの方々に総合学習などの取り組みを紹介するため、「ふる～ぶ展」で学習の成果の展示等を現在企画中です。ふる～ぶ編集部が取材にいきますので、みなさまからの取材依頼、お待ちしております。

### 今まで紹介した小学校とテーマ

- VOL. 65** 三縄小学校・川崎小学校(三好市)・・・サギソウを地域の人々と守る活動
- VOL. 66** 加茂名南小学校(徳島市)・・・ピオトープ作り
- VOL. 67** 藍住東小学校(藍住町)・・・吉野川流域講座
- VOL. 68** 藍住北小学校(藍住町)・・・水でっぽう作り
- VOL. 69** 皆瀬小学校(つるぎ町)・・・スズカケソウを守る子どもたち
- VOL. 70** 藍畑小学校(石井町)・・・ふるさとの藍染めに取り組む6年生
- VOL. 71** 助任小学校(徳島市)・・・渭北町じまん
- VOL. 72** 三庄小学校(東みよし町)・・・ふるさとの川に学ぶ
- VOL. 73** 北島小学校(北島町)・・・わたしたちみんな地球人(学校版環境ISO)
- VOL. 74** 種野小学校(吉野川市)・・・美しき郷で学ぶ子どもたち(ふるさとを知る学習)



▲VOL.66 ピオトープ作り



▲VOL.68 水でっぽう作り



▲VOL.72 ふるさとの川に学ぶ



▲VOL.74 美しき郷で学ぶ子どもたち



取材問い合わせ先  
ふる～ぶ編集部

Tel&Fax:088-623-6085

E-mail:fleuve@chime.ocn.ne.jp

## 今月の表紙イラスト 四国のみずべ八十八カ所 NO.14 雨乞いの滝

四国地方整備局では、21世紀に残し、地域が誇ることのできる四国のみずべ空間を選定する「四国のみずべ八十八カ所」を平成13年9月から、1年間にわたって募集し、平成15年に決定しています。ふる～ぶでは、西山欣子さんによる表紙イラストにて「四国のみずべ八十八カ所」をご紹介します。



徳島市 田中茂行さん撮影

日本の流百選にも選ばれ、雄滝、雌滝の二つの流れを持っています。高低差は45メートル。周辺には、うぐいす滝・不動滝・地獄淵・もみじ滝・観音滝があり、四季折々で、さまざまな表情をもち、多くの人々が訪れています。



四国のみずべ八十八カ所の詳しい情報は <http://www.skr.milt.go.jp/kasen/mizube88/>





「ふる〜ぶめいと」は、  
吉野川が大好きな  
人たちの集まりです。

「ふる〜ぶめいと」の活動は、吉野川や吉野川流域に関する身近な情報を「ふる〜ぶ」に提供することにより、吉野川に親しみや、関心を持っていただいて、吉野川ファンの輪を広げていただくことを目的にしています。



## 「中鳥渡し」 つるぎ町 大塩邦光さん

吉野川には、大きな島（中州）が3ヶ所ありました。一番上流にあったのが、つるぎ町西部と美馬市西部の間にあった中鳥島です。この島は、一部を残してほとんどがなくなり、島に住んでいた人たちは、堤防の北に移住しています。

中鳥島がなくなると報道されたのは、昭和48年春休みでした。私はすぐ、島の風景をカメラに収めました。の

どかであった島の風景を、今でも思い出します。中鳥渡しは、島の人たちにとって、JR徳島線を利用したり、南岸に渡るのに、大変便利であったと思います。

現在も、中鳥渡しの名は、バス停に残っています。すぐ横から川に下る道も形はあります。この付近を散歩する時、なつかしい風景を思い出しています。



## 地名シリーズ



徳島市  
萩澤明雄さん  
すけ とう

## 「助任は、助闕」

吉野川橋南詰め内陸に広がる助任（すけとう）は、県外の人には、難読の地名らしい。一方、郷土の人も、未だこの地名の由来を解説した人はいない。

私は、最近まで砂地に付く地名ではないかと考えていたが、どうしても納得できなかった。

蜂須賀家文書「忠英様御代御山下画図」には、寛永年間（1624～1643）別宮川や、新町川、助任川、大岡川に包まれたこの広大な島に、上助任、下助任、助任、助任町などの地名が記され、鷲の門から、上助任の河岸まで、朱線が延び、古川舟渡に接続している。

これからも、藩政時代、淡路街道として、徳島城鷲の門を起点に、北へ、上助任―古川―鯛浜―立道・牛屋島―木津―撫養―鳴門海峡―福良（南あわじ市）に至る重要な通路だったことがうかがえる。

この間には、古川の渡し、鯛浜の渡

し、馬詰の渡し、岡崎の渡しなどがあり、荷物の運搬には、多くの人馬が必要だった。それを補助するために、集める村を助郷（すけごう）というが、郷（ごう）は、いなかの村を意味し、ここは、城下なので、闕（とう・村里）の字を当てて、助闕（すけとう）と名づけたものではなかろうか。それをやさしい当て字（助任）と書き換えられたものと考えられる。

もう一路、城下から鈴江―加賀須野―徳長―撫養とほぼまっすぐに進む撫養往還下道もあった。



## ハーブ農園 からの風

このコーナーでは、「ふる〜ぶめいと」の黒川慶子さんに  
ハーブの楽しみ方を中心に、食と健康、水の大切さなどについて  
語っていただきます。楽しいレシピなども登場しますよ。

### ハーブの始まり

人類が植物の栽培を始めたのは、  
約二万年前と推定されます。その後、  
五千年ぐらい前より、人々は自然の  
なかから経験的に習得した知恵によ  
り、生活に利用しだしたと考えられ  
ます。健康の維持や病気の治療等、  
試行錯誤しながらさまざまな経験  
を重ねて知識を集積し、生活の知恵  
として、世代から世代へと受け継がれ、  
現在に至っています。

今、世界中で二万種類以上にもの  
ぼる薬草やハーブ、スパイスも原産地  
ではいろいろな役目を果たし、これか  
らも果たし続けるでしょう。

さて、私たちの身のまわりにも、い

ろいろな薬草やハー

ブ、スパイスが見ら

れます。初夏、ハー

ーブティーを飲

んでさわやかに

過ごしてみま

せんか？



### ハーブティーの 入れ方

◆ポットにひとつまみの  
ドライハーブを入れ、カッ  
プ一杯強の熱湯を注ぎ、ふ  
たをして約2〜3分。ロー  
ゼル、ローズヒップなど風  
味の出にくいものは、細か  
く砕いて小鍋に入れ、2〜  
3分蒸らすといいでしょう。

◆フレッシュハーブの場  
合は、ドライの約3倍量を  
使用。一種類で使うと癖が  
あつて飲みにくい時は、レ  
モングラスやミントなど  
ほかのハーブをブレンド  
するとおいしく飲めます。  
紅茶にバラの花びらなど  
のハーブやフルーツの果皮  
スパイスなどを加  
えたフレーバーティ  
ーもおいしくいただ  
けます。

#### 「黒川慶子さん経歴」

ハーブコーディネーター

板野町でハーブ農園を営む。

食と健康について、講演も務める。

徳島県薬草協会会員

上板町薬草協会会員

## ふる〜ぶ INFORMATION

### 「東みよし町」合併植樹イベントが開催されました。

4月23日、旧三加茂町と旧三好町の合併植樹イベントが、  
東みよし町の水辺の楽校「ぶぶるパーク みかも」で開催  
されました。

これは、吉野川をフィールドに活動しているボランティア  
団体の皆さんを中心に開催されたもので、当日は、年齢を  
問わず、大人から子供まで約60名の方が参加しました。

昨年の6月21日に開校した「ぶぶるパーク みかも」は、

自然とのふれあい学習の場として広く利用されてきま  
したが、木陰が少なく、ゆったり休める場所がありません  
でした。今回、シダレザクラをはじめとして、ケヤキ、モ  
チノキ、ハナミズキなど250本の苗木を植えました。

植樹を終えた後、地元のボランティアの女性方が作っ  
たたけのこご飯や、ウドやワラビのてんぷらで昼食タイム。  
楽しい春のひとときを過ごしました。これからの季節、「水  
辺の楽校」にでかけ、吉野川にふれあってみませんか。

#### 主催

四国三郎上流域ネットワーク  
「三郎の会」  
平成会  
三加茂町商工会

#### 後援

吉野川流域交流塾  
サアーやらんで大楠21  
国土交通省徳島河川国道事務所  
貞光出張所





## 吉野川水系河川整備計画の策定

5月23日、四国地方整備局は、『吉野川水系河川整備計画の策定に向けて』を発表しました。今後の進め方については、吉野川の河川整備計画を「吉野川の河川整備（直轄管理区間）」と、「抜本的な第十堰の対策のあり方」の2つに分けて検討し、それぞれの検討の内容や進捗状況を勘案し、河川整備計画を策定してまいります。

河川整備計画の策定にあたっては、専門的立場の学識経験者の方々、流域住民の方々および、関係市町村長から、多くのご意見を幅広く聴かせていただき、情報公開、住民のご参加のもと、具体的な検討を進めていきます。吉野川水系河川整備計画の進捗状況につきましては、適宜インターネットなどでお知らせしてまいります。

### 《吉野川の河川整備（直轄管理区間）（「抜本的な第十堰の対策のあり方」を除く）の検討》

#### 吉野川学識者会議

【役 割】：河川整備の計画に関する意見を聴取  
【参加者】：吉野川に関し学識経験を有する者  
【事務局】：四国地方整備局  
【オブザーバー】：関係各県

#### 吉野川流域住民の意見を聴く会

※上流域2箇所（愛媛県会場・高知県会場）・中流域1箇所・下流域3箇所合計6箇所で開催

#### パブリックコメント公聴会

【役 割】：河川整備の計画に関する意見を聴取  
【参加者】：流域住民（自由参加）  
【事務局】：四国地方整備局  
【オブザーバー】：関係各県

#### 吉野川流域市町村長の意見を聴く会

※上流域・中流域・下流域の3地域で開催

【役 割】：河川整備の計画に関する意見を聴取  
【参加者】：関係市町村長  
【事務局】：四国地方整備局・関係各県

#### 情報の公開・共有

- ◆意見を聴く会等の公開実施
- ◆ホームページの開設（会議資料の公開）
- ◆ニュースレターの発行 等

情報

意見

情報

【河川管理者】  
**国土交通省四国地方整備局**  
吉野川の河川整備（直轄管理区間）の計画（案）の作成



#### ふる～ぶ編集後記

華やかだった西村中島堤防の竣工式。でも堤防の完成には、多くの皆様のご協力があったことを忘れてはいけないと思いました。（か）

今月から特集のページ数が変わり、ふる～ぶめいと黒川さんによるエッセイもスタートしました。みなさんのご感想お待ちしております。（や）



#### おたより

〔堺市／小崎礼子さん〕

堺市にお住まいの小崎さんが徳島を訪れた際、「ふる～ぶ」をご覧になり、バックナンバーVOL4のにんじん編を読みたいと、連絡をいただきました。

「ふる～ぶ」が、フランス語の海にそそぐ大河の意味だと知り、「ふる～ぶ」という語感と吉野川の流りがぴったりと、感心しています。中央構造線沿いに流れる吉野川の景観はすばらしく、心が豊かになります。

春夏にんじんの生産量、徳島が全国1位とは。私は、千葉かと思っていました。生産者の竹谷さんのお話では、3月末から6月上旬が特に忙しいとか。コリコリ漬けも試してみたいと思っています。



#### 戌の干支スレセント

石井町・佐藤さんが吉野川の竹を使って作った戌の干支竹細工をプレゼントします。ご希望の方はお葉書またはファックスでお送りください。締め切りは7月14日（金）です。



〒771-1156  
徳島市応神町  
応神産業団地13-28  
ふる～ぶ編集部  
竹細工プレゼント係